

# 戦後の世界は、そして現在は

世界は様々な人によって構成されている

それぞれが生活する環境（地形・気候 etc.）、背景（歴史・文明の発達・宗教 etc.）が、全く同じところはない。

価値観<sup>1</sup>はそれぞれ違う。違って当然。お互いを認め合うことが大事。

## 第二次世界大戦後

**国際連合** 1945年10月24日設立（本部：ニューヨーク）

目的：世界の平和と経済・社会の発展のために協力する

日本は1951年に80番目の加盟国<sup>2</sup>として加盟して以来、経済社会理事会、安全保障理事会の非常任理事国として選出される等、積極的に貢献している。



## 冷戦（冷たい戦争）1945 - 1991

アメリカを中心とした資本主義陣営と、ソ連を中心とした社会主義陣営との対立。

**資本主義**：特徴 商品を作るために必要な土地・建物などの生産手段の私有化、市場における自由競争

問題 お金のある人とない人の格差がある

西側陣営：アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、イギリス、フランス、**西ドイツ**、イタリア、スペイン、ポルトガル、オランダ、ギリシャ、デンマーク、ノルウェー、トルコ、日本、**韓国**、中華民国、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、イスラエル

**社会主義**<sup>3</sup>：特徴 生産手段を公有化し、中央政府の指令による集権的な計画経済

問題 企業の利潤が政府に吸い上げられる

効率性、技術革新がおきない

東側陣営：ソビエト連邦、ポーランド、**東ドイツ**、ルーマニア、ブルガリア、チェコスロバキア、ハンガリー、キューバ、中華人民共和国、**北朝鮮**、ベトナム、ビルマ、カンボジア、モンゴル、ラオス

<sup>1</sup> 自分にとって何が大事か、大事なモノの優先順位、重きを置くものが何かについての判断

<sup>2</sup> 現在は192ヶ国。事務総長は2007年1月より韓国人の潘基文（パン・ギムン）氏

<sup>3</sup> 社会主義（socialism）と共産主義（communism）の違いが不明確になっています。

## 東側の経済

- ・新規開拓事業や技術革新がほとんど進まない
- ・農業の生産性がほとんど上がらない
- ・国営企業の生産数と実態に大きな差が出てくる

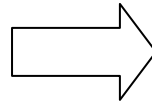


## ソビエト連邦

消費財<sup>4</sup>・食料が国内では生産が足りない 外国から輸入 借金が増大！  
東側諸国への天然資源供給<sup>5</sup> 外交上、値上げが出来ない！  
アフガニスタン侵攻&続く冷戦 軍事費がかさむ！

結果・・・

経済の自由化  
市場社会主義への転換



急激すぎて  
経済危機に

## 南北問題

先進資本国と発展途上国間の経済格差、その是正をめぐる問題

**戦後** 農業（商品作物）によって経済を成り立たせている国も多く、そういった国の所得水準は工業国に比べ際立って低いわけではなかった。

しかし、資本主義国の技術革新などにより、農産品は衰退。  
工業品輸出により発展を遂げる日本、西ドイツとの格差が広がり始める

発展途上国も工業化を試みるが、失敗。多くが赤字を膨らます結果となる<sup>6</sup>

**1970年代** 資源保有国による資源の価格操作。オイルショックにより地位が高まる。

**1980年代** アフリカや中南米の国はハイパーインフレが発生し、経済が混乱する。

<sup>4</sup> 購入して消費する財（例：自動車、冷蔵庫、テレビ etc.）

<sup>5</sup> 原油・天然ガスがロシアは採れる

<sup>6</sup> その中でも韓国、台湾、マレーシア、メキシコ、ブラジルは一定の成果を見せる